

令和7年度第3回 茂原市スポーツ推進審議会 会議概要

1 日 時 令和7年10月2日（木） 15時00分～16時30分

2 場 所 茂原市市民体育館 第1会議室

3 出席委員 中村委員、宍倉委員、鵜澤委員、井上委員、土屋委員、長谷川委員

4 出席職員 教育部長 佐久間尉介、教育部次長・教育総務課長 新木和敏、
学校教育課長 佐藤千秋、スポーツ振興課長 石井直美、スポーツ
振興課長補佐 内山俊樹、スポーツ振興課 久保田健一、中村一之、小高恵子

5 傍聴者 0人

会議進行 内山

1 開会

本日の会議の出席委員は6名です。茂原市スポーツ推進審議会条例第6条第2項に規定されている委員の半数以上の出席を満たしているので、本審議会は成立しています。

2 あいさつ 会長

議題に入る前に第2回審議会において、委員の皆様から質問があり、回答が保留になっているものについて、事務局より説明する。

事務局 それでは説明させていただきます。参考資料1の1ページをご覧ください。

「男性の場合、60～69歳のスポーツの実施率が一番低くなっている。その理由は何か」というご質問がございました。これについてはアンケートの中で、「スポーツを実施しない理由」という設問がございまして、その回答を男女の年齢別にしたもの、この1ページの表となります。60～69歳のところに網掛けをしておりますが、理由として多い順に、「仕事や家事等が忙しい」が24%、「きっかけがない」が16%、「お金がかかる」が16%、「病気や怪我」「仲間がいない」がそれぞれ11%、これらがその理由ということになります。

次に2ページをご覧ください。「1年間で行うスポーツの種目は、複数回答として聞いているのか。いろいろなスポーツをやっている人が結構いるのかどうか」というご質問がありました。アンケートは3つまでの複数回答として実施しました。複数の種目をやっている方については、3種目のスポーツをやっている方が193人、29.9%です。内容としては、ウォーキング、筋トレ、体操の順に多くなっています。2種目やっている方は150人、23.3%。順番は、ウォーキング、筋トレ、体操の順、1種目については139人、21.6%ということでした。全体として多い種目については、ウォーキング、筋トレ、体操で、この3種目をやっている方は、全体で13人いました。あとウォーキング、筋トレの2種目をやっている方は30人という結果になります。

次に3ページをご覧ください。

「1年間で行ったスポーツ運動の中の上位の個人競技は、何歳から何歳までが多いのか」というご質問ですが、表で見ますと、概ねどの年代、男女とも、多いことがわかります。

若い年齢層は回答数自体が少ないものですから、多少ばらつきがあるかと思いますが、全体の上位の筋トレまたは体操が多いという結果です。

次に4ページですが、委員から資料提供がありましたので、配布させていただきます。第1次から第3次までの年代ごとのスポーツ実施率の表となります。全体のスポーツ実施率は、第3次は第1次と比較すると、大分伸びているのですが、表で比較しますと特

に若い世代、20～40代ぐらいの方の実施率というのが非常に伸びているということがわかります。これについて何かございますか。

委員 第1次計画を作った時には、アンケートでは、高齢者が本当に一生懸命やっているけれども若年層や働き盛りの方は比較的少ないという結果でした。我々の目標としては、全世代の方がスポーツに親しむようにしていくのが1つの目標と考え、2次計画あるいは今回の計画で、全体平均が50%から60%、70%と全体が上がっているし、年代別でも若年層から中間層が少なかったのが、それぞれの年代が増えてきて、全体的に運動に親しんでいるという傾向が見られます。我々が目指していたことに少しずつ近づき、平均で70%から80%、100%と目指していきましょう。そういうことを市民の方に分かりやすく、成果がここまで出ていますと、次に目指すのはここですよということを、分かりやすく説明する資料として、こういったものはどうかなという提案でした。

事務局 説明は以上になります。

3 議題

- (1) 第3次茂原市スポーツ推進計画の基本理念について【資料1】
- (2) " 基本目標について【資料2】
- (3) " 数値目標について【資料2】
- (4) その他

茂原市スポーツ推進審議会条例第6条第1項の規定により、中村会長を議長として議事を進行した。

議長 議長を仰せつかりました中村です。

議題に入りたいと思います。議題の1としまして、第3次茂原市スポーツ推進計画、基本理念について、事務局から説明をお願いします。

事務局 議題1の第3次スポーツ推進計画の理念について、ご説明させていただきます。

資料1をご覧ください。

基本理念について、第1回、第2回の審議会で皆様からご意見をいただきました。

委員の皆様からの意見をもとに、今回事務局案を提案させていただきます。

基本理念の「市民ひとり1スポーツ」という本題は、審議会の中でもいろいろなご意見をいただきましたが、明確な反対意見はなかったこと、広報等においても広く市民に周知してきたこと、市民体育館内にもフラッグや床マットなどに記載していること、どういう言葉であっても基本理念の言葉だけでは、すべての思いは伝えきれないことなどを考慮しまして、事務局案といたしました。

副題につきましては、現行の～スポーツを楽しみ健康で活気のあるまち茂原～から、～市民の誰もがスポーツを楽しむことができるまち～として提案させていただきます。

現行の副題は、市民憲章にある言葉を使っているのですが、市民憲章は今後も市のまちづくりの基本となるものであり、すべての行政運営において目指すべき指針となるものです。スポーツ行政においても、引き続き市民憲章の考え方を踏まえて運営してまいります。

基本理念の説明文については、皆様の意見を踏まえて、下線部分を変更し、若い世代からお年寄りまでそれぞれの状況に応じて、「市民の誰もがスポーツを楽しむことができるまち」という文章に変更をいたしました。

第3次茂原市スポーツ推進計画は5年間の計画であり、その5年間において目指す目標が、基本理念であり、説明文とあわせて、より具体的な記述として提案させていただきます。

また、今回目指す目標として、1週間に1回以上スポーツをする市民の割合（18歳以上）とし、目標とする数値を52.8%から60%とさせていただきました。

数値の目標につきましては、それだけですべてを評価できるものではありませんが、計画を実行し評価する際に何も決めていないと評価自体が困難となります。目安ではありますが、具体的な数値目標を設けることで、目標が明確になり、いろいろな事業を実施し、効果があったかどうかを検証することが可能となります。

また、最近の傾向として、様々な計画において数値目標を設定することが当たり前となっております。

参考資料2の21ページをご覧ください。新たな計画の中で、まず、基本理念の説明文の4行目の中で、本計画におけるスポーツの考え方を説明し、基本理念、数値目標について記載しております。

説明は以上となります。よろしくご審議のほどお願いいたします。

議長

ありがとうございました。今、事務局から説明がありました。

資料1、下線部分を事務局でいろいろ考えて、こういう形になったわけですけれども、ご意見とか感想、あるいは質問でも結構ですのでお願いいたします。

委員

「ひとり1スポーツ」ということで前の会議でも意見を述べたんですが、1スポーツというと種目というふうに捉えられてしまうので、スポーツの種目をしなくてはいけないのかなという。今の事務局の説明は分かり納得できるので、一応これでもいいかなとは思います。1スポーツというのはスポーツの種目に限定するのではなくて、スポーツというのは広い意味での「運動」ですと。例えばラジオ体操であったり、座って足踏みするのも含めて、広い意味でのスポーツです、ということを市民が読んで分かるように、種目を1つ選んでやりなさい、ということではないです、ということが分かるように、幅広く、体を動かして体にいいような運動をしましょう、ということを言っているということが理解できるような説明にして欲しいです。

事務局

ありがとうございます。先ほど説明の中で、実際の計画書の中で、どういう表記をするかということで、ご説明をさせていただきました。

参考資料の2の21ページの中に、基本理念の説明文として、スポーツについて、この計画では、健康を目的として行われる身体活動や遊びとか、そういうことも含めて、スポーツとして捉えているということをまず説明文として入れさせていただきました。必ずスポーツをやりなさい、ということでは決してありません。また基本理念の説明文の中で、若い世代からお年寄りまでそれぞれの状況に応じて、できることを目指しているということで説明をさせていただきました。これについては、委員の皆様の意見を踏まえながら、改めて検討させていただきたいと思います。

委員

説明は入っていますので、納得はします。ありがとうございます。

議長

そうですね、これだけ見たら「1スポーツ」やらなくてはという感じですが、説明はありますから。説明がきちんと書いてありますから、一読すれば納得しますね。

委員

「ひとり1スポーツ」というのは、前回もお話したと思いますけれども、ハードルが高いのかなというイメージは持つかとは思いますけれども、サブテーマで、「市民の誰もがスポーツをし楽しむことができるまち」というふうに、前

回の委員の皆さんのお意見をうまく取り入れていただいたサブテーマをつけていた
だいているので、本当にありがたいなというふうに思いました。

説明の中で下線をつけてある中でも、それぞれの状況に応じて、という言葉を
入れてくださっているので、誰もがそういうスポーツに親しんでいくというこ
とが、伝わっていくのではないかと思います。

本当に前回の私たちの意見を取り入れていただいているということを感じてい
ます。

スポーツという捉え方を、茂原市はこういうふうに捉えているということをこ
の3行で表してくださっているのですけれども、どういう形がいいのかちょっと
分かりませんけれども、茂原市としてはこういうことも、スポーツとして捉えて
いるんだということを、イラスト等使いながら、具体例を示してもいいんではな
いかという感想を持ちました。

事務局 ありがとうございました。先ほど申し上げたとおり、委員の皆様の意見を踏ま
えて、もう少し文章については、具体的にこういうことも入るんだよというこ
とが読み取れるような文章を考えたいと思います。

委 員 意見ではないですが、今まで茂原市市民憲章という言葉が入っていました
がそこがもう本当に柔らかい文章で、本当に誰もが分かりやすい文章に直って
いていいなと思いました。初めて見る人も、これがすんなり入ってくる。ただ
1スポーツというとやっぱり、何か種目を考えてしまう、というのがあります。

委 員 私も「ひとり1スポーツ」ということで、競技スポーツをイメージしてたん
ですけれども、この下の「体を動かす活動のすべて」という言葉が、茂原市は
そういうことではなくて、健康、それから人々の繋がりとか絆を目指している
んだなと、この言葉で、腑に落ちたというか、スッと入ってきたのすごく今
回よかったです。

議 長 私もいろいろな団体の総会等で市民憲章をみんなで言うんですけど、あれだと
本当に硬いような感じがしました。でも今回は私の感想ですけども、すごく、
やさしくて柔らかくなってきました。他にどうでしょうか。感想でもいいし意
見でもいいし、質問でもいいです。

委 員 目指す目標についてご説明いただいたんですけども、この目指す目標とい
うのは、記載は21ページ、22ページのこんなイメージになるというふうに理
解していいですね。その目指す数値目標というのが「1週間に1回以上スポ
ーツをする市民の割合（18歳以上）」で、それを60%にしましょうと謳つて
いて、その次に、基本目標Ⅰとして、「誰もが楽しめるスポーツの推進」とい
うところで「1年間でスポーツを実施した市民の割合」を80%にしましょうと
書いてあり、数値目標が2つあって、市民が混乱するような気がします。なぜ
2つにしたのかということと、できれば1つ、例えば80%だけとかに統一した
ほうが分かりやすいんではないかという気もするんですけど。

事務局 計画上一番大きな目標というのは、その基本理念の実現ということにな
ります。その基本理念を実現できたかどうかという数値目標が、1週間に1回
以上スポーツをする市民の割合と、これが一番計画の上位にある目標で、そ
の基本理念を達成するために、基本目標が3つあるという関係になります。

基本目標にある3つの目標やその目標値については、基本理念を実現するた
めの施策ごとの目標という関係になるとご理解いただきたいと思います。

市によっては、基本目標があり、その下に具体的な施策があり、施策毎に目
標や数値目標を設けているところもあります。一番上に目標があり、その下に

くる基本目標や具体的な政策は、目標を実現するための手段という関係になります。説明は以上です。

議長 ありがとうございました。

事務局 参考資料2の21、22ページをご覧いただくと基本理念と基本目標の関係が分かると思います。また、23、24ページをご覧いただくと計画全体の施策体系を表しています。

議長 ありがとうございました。

委員 この基本計画の説明の仕方は、最初のアンケート調査で、最初に出てくる数字は、「1年間にどのぐらいスポーツしていますか」という数字で、年々上がっているという説明があり、「週1回以上スポーツをする市民の割合」を数値目標にするのか、「1年間でスポーツをした市民の割合」を数値目標にするのかだけの問題だと思います。これを読んでいる方からすると「1年間にスポーツをする市民の割合」を目標にした方が市民としては分かりやすいかなという気もしないでもない。

事務局 アンケートの概要にあるのは、アンケートを実施した内容の順番に、主なものを掲載しています。1年間でスポーツや運動をやったかどうかということも、アンケートをしています。実際に市民の皆さんのが、1年間に1回だけスポーツをするということ自体が悪いわけではないのですが、目標としては、週2回、3回やるのが理想的だと考えています。しかしながら、それでは実現が難しいので、大きな目標としては1週間に1回やることを目標として、参考の指標として1年間に1回ということも取り入れるということです。市の計画の大きな目標としては、「1週間に1回以上やる人の割合」をいかに増やすかどうかということを目標として掲げています。この数字というのは、他市の指標のほとんどが、この1週間に1回以上の割合ということを、目標として掲げています。それが一番の目標とすべき内容でもあると思いますし、実現が可能な目標なのではないかと捉えています。

議長 茂原市としては「週1回以上～」ということを目標ととらえているということですが、議題1はよろしいでしょうか。次に議題2について、スポーツ推進計画の基本目標について事務局から説明をお願いします。

事務局 議題2、「第3次スポーツ推進計画の基本目標について」ご説明させていただきます。資料2をご覧ください。

1 現計画の基本目標ですが、現計画の基本目標は、I 生涯スポーツの推進、II 競技スポーツの推進と指導者の育成、III スポーツを活用した地域づくり、IV スポーツ施設の整備と有効活用の4つを定めています。

第2回の審議会では基本目標の表現方法が硬いのではないか、基本目標IIの「競技スポーツの推進と指導者の育成」について、「基本目標とするのはどうか」など、いろいろなご意見をいただきました。

事務局といたしましても、「競技スポーツの推進と指導者の育成」は、市の直接的な事業ではなく、団体等への支援が中心であることから基本目標とはせずに他の施策とあわせて、基本目標を4本から3本にしてはどうかと考えております。

具体的には、参考資料3をご覧ください。これは現計画と新計画の施策体系を比較したものです。基本目標を4本から3本とし、基本施策を15本から12

本に再編いたしました。基本的にこれまで実施してきた施策は継続することとし、事業内容が同様なものは整理統合しシンプルな施策体系といたしました。

次期計画の基本目標Ⅰですが、「誰もが楽しめるスポーツの推進」といたしました。内容は概ねこれまでの「生涯スポーツの推進」と同じ内容ですが、表現を改めております。

次期計画の「Ⅱ スポーツ交流による地域づくり」については、現計画の「Ⅱ 競技スポーツの推進と指導者の育成」と「Ⅲスポーツを活用した地域づくり」を合わせたもので、施策の整理統合を行っております。

次期計画の「Ⅲ スポーツ環境の整備と情報発信」につきましては、現計画の「Ⅳ スポーツ施設の整備と有効活用」にすべての施策に関わるものとして「スポーツに関する情報提供の充実」を加えたものとなります。

説明は以上となります。ご審議のほどよろしくお願ひします。

議 長

今、事務局から説明があったわけですが、これまでのものだと、かなり硬い言い方ですか、生涯スポーツの推進、競技スポーツ、スポーツを活用した地域づくり、スポーツ施設の整備など、4項目ありますけど、それをシンプルに3項目に直したことです。だいぶ、柔らかくなっています。事務局の提案があったわけですけども、22ページには3項目の基本目標と指標が掲載されています。その内容についても説明があったわけですけども、皆さんのご意見をお聞きしたいと思います。感想でもいいですし、意見でもいいですし、質問でもいいです。

委 員

その基本目標を3つに整備するということは内容的にも私はいいと思います。ただ基本目標に対して、目標値を設定されているんですけども、例えばⅠの「誰もが楽しめるスポーツの推進」ということで、1年間でスポーツをした市民の割合は80%にしましょうという、これは市民が努力しましょうという形でいいんですけども、2番と3番、特に3番については市民の満足度を掲げているんですが、これは市民が努力するのではなく、行政の目標なので、行政の目標をこういうところに出す必要があるのかな、というふうに読んだ方は思うんじゃないかなと思うんですよね。だから、その目標値が本当に必要なのか、市民としては、違和感を覚える人もいるのではないかという気はしました。

事務局

目標値を設けること自体がどうなのかということですけれども、今まででは設定していないのですが、一般的にこのスポーツ推進計画だけではなくて、他の一般的な計画も基本的には目標を設定し、評価をし、住民に公表するというのが今の計画の作り方になっています。当然数値だけですべてを表せるものではありませんから、基本目標にある「市民の誰もが楽しめるスポーツ」の推進ですけども、仮の数値として、計画を策定する際にアンケートを実施して、その中にある「1年間でスポーツを実施した市民の割合」をやったらどうかと。2番目3番目についても、何をもって地域づくりなのかという、捉え方も非常に難しいので、あくまで参考資料としてアンケートの中でこういった設問を新たに設けて、それを計画の評価につなげていけたらと考えております。
いずれの目標についても、市民の方がというよりも、市がこの計画を作つて色々なスポーツ、施策を推進していく1つの目標で、目安とするものという位置付けになります。ですからこれが最適かどうか、これ1つでもちろん評価自体はできないと思いますので、これ以外の参考となるような指標を色々設けて、総合的に判断して評価をしていきたいと考えています。以上です。

委 員

例えばⅡの目標が30%で、Ⅲが50%と設定されているんですけど、その根拠が何なのか、それ自体どんな意味があるのか。逆にⅠの目標が80%ですが、誰もが1

年間スポーツしましょうという目標ならば、100%でもいいんではないかと、思いますがいかがでしょう。

事務局

ご質問に対してですが、最終的には100%を目指したいと思いますが、今72%でいきなり100%というのもハードルが大分上がってしまうかなというところで、徐々に実現可能な目標として設定したらどうかと。
目標Ⅱ、Ⅲの30%、50%については特に根拠はありません。アンケートを実施した時にどれぐらいの数値になるだろうかと考えた時に、これぐらいになるのではないかという数字なので、これ自体が正しいとかそういうものではないので、皆さんの意見をお聞きしながら設定したいと思っています。

議長

ありがとうございます。基本目標と数値目標は一緒になっているようなので、議題2と3、質問でもいいですし意見をお願いします。

委員

新しい基本目標のⅡ、Ⅲの現状値はアンケートを取っていないから数字がないと思うのですが、これ市民がどう思うかですよね。市のスポーツ環境が満足いくと市民の皆さんが思うか。不満足か。これは、アンケートをやらないと分からないので、現状値のアンケートだけとってみると目標値も根拠ある数値になるのかなと思います。現状は分からないからとりあえず30%、50%だと全然意味がないので。例えば、現状満足が70%から50%は意味がないし。アンケートをとるのが難しいのであれば、目標設定をしないでということでもいい。アンケートをして、今どれくらいの市民が不満に思っているのか、というのが分かると、色々励みになるのかなとは思うんですけど。なかなか過去のアンケートからこれを数字で出すっていうのは難しいですか？数字出すにはもう1回アンケートをできればやったほうがいいですよ。予算もかかるしなかなか難しいと思うんですけど、そこはどうでしょう。

事務局

ありがとうございます。基本的に今おっしゃっていただいた通りなんですけどもアンケートをやるためにデータを抽出したりするという予算がかかる部分があるので、現状値として数字を捉えるのは難しい状況にはあります。何かいい方法があれば検討したいと思います。ネットだけに限るとかですね、充分な数にはならないとは思うんですけども。それに近い数字が出るようなものを考えてみたいと思います。

議長

確かにこの表だけ見たら私が、基本目標が変わったから6年度の数字はないかと思ったんですけども、市民の方が見ると疑問に思いますね。アンケートが色々出ていますけど、何かこれに結びつけることはできないですかね。

事務局

あるいは、この成果指標を変えて、今あるアンケートであるとか、例えば地域づくりに関して言えば、色々なイベント等もやっていますから、イベントの参加者数みたいなものを代替の指標として設けるということはできなくはないですし、地域づくりに役立っていると思う割合というのが指標として最良かどうかを含めて、ご意見いただきたいと思います。
暫定的にこういう形で今回は定めて、次期計画時に、アンケートのデータをもって現状値と目標値を改めて設定し直すことは可能なのかと思います。

委員

今日ここで協議するのはこの目標値を載せるか載せないかという事が議題でいいですね。例えばこの数字を見て、疑問に思う市民の方が多いのであれば、あえてこの数字を載せなくてもいいし、令和8年からなので、11年度にアンケートで評価しますというコメントだけでもいいかも知れませんね。

- 議長 どうでしょうか。無理してここに載せなくてもということなんんですけども。ただし書き等で11年度アンケートをとりますとか入れるか。
- 委員 まず議題2の基本目標についてですが、今回3つに絞られ、1つ目に、誰もが楽しめるっていう言葉が入り、2つ目には、スポーツの交流という、交流という言葉が新しく入り、3つ目には、情報発信という言葉が入りました。市が目指していくものが明確になり、この基本目標はいいのではないかと思います。
- 議題3についてですが、いろいろご意見が出てますけれども、IIのスポーツ交流が地域づくりに役立っていると思う割合という指標について、最初に読んだときに、評価するのが市民の側だとしたら、どうやってこれを評価していくのかと思いました。自分が評価する側だとしたら、答えるのは難しいと思いました。IとIIIについては、市民の方は明確に評価できるのではないかというイメージを持ちました。数値目標については、Iについては、大丈夫ではないかなと思いますし、IIIについても、市としてこの数値を目標に、達成できることを考えて取り組んでいかれる上でも、市としての目標として設定していいのではないかと思いました。ただIIについては、指標が不明確なので、それに対する目標値が30%というのも根拠というか、イメージがわからないというのが感想です。
- 事務局 ありがとうございました。他の委員どうですか。
- 委員 私もこの資料を見た時、IIはどう答えるかなと思いました。答える側として、自分の周りの地域と考えて結構役立っているなという感じで、どういう質問なのかなと思ったりしました。
- 事務局 ありがとうございました。お願ひします。
- 委員 議題2の基本目標ですが、スポーツ交流による地域づくりということで、スポーツ交流というのは、地域のスポーツに参加することで、皆さんのが集まって交流するわけで、集まった方々で地域が活性化される、地域がつくられるわけではないのではと違和感を感じました。その辺はどうなんでしょうか。
- スポーツ交流は、ある一部地域のスポーツ交流だけでなく、いろいろな市で開催されると思うんですが、多岐、多方面の方の交流会がありそこに皆さんのが参加されるわけですけども、それで地域がつくられるかなというのだけ引っかかりまして、その数値目標に関しては、やはり別になんでもいいんではないかなとは思いました。
- 事務局 地域づくりの捉え方というのが非常に難しくて、イメージしているのは、例えばイベントを今度タッチバレー大会をやりますけれども、市内外から色々な方が来て、交流が促進され、それがまちの活性化に繋がってくるという、そういった取り組みを全体として推進したいという思いはありますので、指標として考えると、今回提案したものだけでなく、例えば主要なイベントの参加者数や、それぞれの大会のアンケートで満足度を図るとか、そういう中で交流が図れたかどうかということを、指標とするのは可能だとは思います。皆さんから分かりづらいというご意見いただいているので、ここは改めて検討します。
- 委員 前回の案が「スポーツを活用した地域づくり」なんですが、その方が分かりやすいような気もしないでもない。「スポーツ交流による地域づくり」を前年度の、「スポーツを活用した地域づくり」という表現から変えた意図は何ですか。

事務局 基本的に言っていることは同じことで、明確に違いがあるかというとそうではないんですけども、その点はご意見踏まえてまた改めて考えたいと思います。

委 員 それは多分、交流という言葉を入れたいということで、どこに入れるかと言つたらここに入ったっていうことでしょうか。

事務局 分かりやすいか、分かりにくいかというと戻ってしまうのですが、いろいろな考え方があると思いますけれども、こちらの意図としてはスポーツイベント等によって、住民の交流を促進したいという、市の上位計画の中にもそういう言葉を使っていりますし、他市でも、交流という言葉が多く使われているので、それで入れたということでござります。

議 長 他にどうでしょうか。ないようでしたら次、議題4に移りたいと思います。
議題4その他について事務局よろしくお願ひします。

事務局 それでは議題4その他について説明をさせていただきます。まず参考資料2をご覧いただきたいと思います。

これは、「第3次茂原市スポーツ推進計画」の素案になります。まだ府内関係課との協議が整っておりませんので素案という段階で、参考資料として提出させていただきましたのでご理解いただきたいと思います。

内容については、いずれもこれまでの審議会資料、アンケート結果等を踏まえて作成しています。また巻末には、審議会条例、委員名簿、諮問、答申の内容、これまでの策定経過等を掲載しております。

計画については、次回第4回で具体的にご議論いただきたいと思います。

あわせて参考資料3についてご説明をさせていただきます。先ほどご説明したとおり、現計画と新計画の施策体系の比較となります。基本目標を委員の皆さんの意見も踏まえながら4本から3本としまして、基本政策については15本から12本に再編をしております。基本的にこれまで実施してきた施策は継続することとしています。事業内容が、同様なものは整理統合してシンプルな施策体系といたしました。

次に参考資料4をご覧いただきたいと思います。

次回が第4回で、最終回となりますので、第1回に諮問した事項について、第4回で答申をいただきたいと思っておりますので、参考に作成しました。

内容につきましては、第1~2回の審議会の中で委員の皆様の意見の中から、諮問した基本理念と基本目標等に関わる意見について、言い回しを変えて作成をしています。答申のつくりについては、市の総合計画などにおいても同様の作り方をしております。

答申につきましては、次回の第4回でいただくことになりますが、内容としては、第1回から第3回までの意見をとりまとめ、仮の答申書として提出いただき、第4回の意見については、まとめたものを会議録と一緒に皆さん方にお送りをして、その意見を踏まえて最終的な答申にさせていただくということで考えております。説明については以上となります。

議 長 はい、ありがとうございました。今事務局から説明がありました。
参考資料2、3、4が次回の内容になるということなんんですけども。
答申書について何かご意見がありましたらお願ひします。

委 員 34ページ(3)、都市公園の整備の文章の文末が「整備いたします。」と記載されていますが、他の文章は「あります」とか「努めます」とか記載されていますので、次回修正する機会があればお願ひします。

- 委 員 24 ページの基本施策のころで、スペースが入っているところもあれば、入っていないところもあったり、文字が罫線にかかっていたり、フォントサイズが違っている箇所があるので修正をお願いします。
- 議 長 どうでしょうか他にありますか。それでは、以上をもちまして本日の議題すべて終了いたしました。これで、議長の任を解かせていただきます。円滑な進行にご協力いただきありがとうございました。事務局にお返しします。
- 事務局 中村会長ありがとうございました。
本日は長時間にわたりご協議いただき、ありがとうございました。
最後に、4 その他でございますけれども、委員の皆様から何かございますでしょうか。よろしいでしょうか。
それでは事務局から連絡事項でございます。
第4回、次回の審議会は、11月6日本木曜日、午後3時から、この会場で開催いたします。次回は、本年度最後の審議会となります。
先ほど説明の方がありました通り、第1回審議会で諮問いたします。
した事項について答申をいただく予定となっておりますので、よろしくお願ひします。
また、開催通知は概ね1ヶ月前に委員の皆様に発送いたします。
会議資料は、1週間前をめどにですね、送付いたしますので、また、事前にご確認の方お願ひいたします。
それでは以上をもちまして、第3回茂原市スポーツ審議会を終了とさせていただきます。
長時間にわたり皆様お疲れ様でした。
ありがとうございました。